

# 広報のための 情報漏洩対応ケーススタディ ～ マネジャーが直面するジレンマ～

情報漏えい問題の真の主役は広報部門。  
事後対応における諸問題について、実際のケースを用いて  
解説・ディスカッション。  
著名広報コンサルタントがとるべき道を指南！

業種を問わず企業最大のリスクとなり得る「情報漏えい問題」。

セキュリティやシステム管理の面からの事前対策ばかりが取り沙汰されますが、事後対応において広報部門の果たす役割は非常に重大です。

にもかかわらず、これまで広報部門の立場で情報漏えいの対応策を考える場はあまりありませんでした。

本セミナーでは実際の事例を用いて、会社が採るべき選択肢やその際に陥るであろうジレンマなど、具体的な課題をみなさんと一緒に解いていきます。

参加  
無料

2010年1月20日 16:00～

会場：TKP 大阪梅田ビジネスセンター

先着 50名様限定

## テーマ

- ① プレスリリースを打つタイミングは？
- ② プレスリリースに数字を出すべきか？  
その表現方法は？
- ③ 記者会見の時期、方法は正しかったのか？
- ④ おわびの「しるし」、そのあるべき姿とは？
- ⑤ 不祥事直後の企業広告はどうするべきか？

講師：山見博康氏

(山見インテグレーター株式会社 代表取締役 広報・危機対応コンサルタント)

1968年九州大学経済学部卒業。神戸製鋼所入社、広報部長、コンサルティング会社出向等を経て2002年に独立。自らの豊かな体験と有力企業・メディアとの広範なネットワークを活かした実践的で明快な指導には定評がある。福岡県出身。

【著書】「広報・PRの基本」(日本実業出版社)

「広報・PR 実務ハンドブック」(日本能率協会マネジメント)

「会社をマスコミに売り込む法」「広報の達人になる法」(ダイヤモンド社)

「わかる！使える！広報活動のすべて」(PHP ビジネス新書) ほかも多数



## 「広報のための情報漏洩対応ケーススタディ」 広報セミナー開催概要

- タイトル : 「広報のための情報漏洩対応ケーススタディ  
～マネージャーが直面するジレンマ～」
- 日時 : 2010年1月20日(水曜日) 16時00分～18時30分
- 対象 : 広報部課長以上 または マネージャークラスの方
- 進行 : 16時00分 ご挨拶と背景説明  
16時10分 ケースディスカッション
  - ① プレスリリースを打つタイミングは？
  - ② プレスリリースに数字を出すべきか？ その表現方法は？
  - ③ 記者会見の時期、方法は正しかったのか？
  - ④ おわびの「しるし」、そのあるべき姿とは？
  - ⑤ 不祥事直後の企業広告はどうするべきか？
- 17時20分 SPIDER PRO による事例紹介
- 17時50分 まとめ 危機にいかに対応するか～広報の本質～
- 18時00分 懇親会
- 18時30分 閉会
- 会場 : TKP 大阪梅田ビジネスセンター  
住所：大阪府大阪市福島区福島 5-4-21 TKP ゲートタワービル 8F カンファレンスルーム 8C  
交通：JR「大阪駅」・阪急「梅田駅」・阪神「梅田駅」・地下鉄四つ橋線「西梅田駅」の地下街を  
通って6-2番出口より徒歩30秒  
JR線「福島駅」徒歩2分  
阪神線「福島駅」徒歩5分  
JR東西線「新福島駅」徒歩5分



- 申込要領 : セミナー申込登録フォームにてご連絡いただきますようお願い申し上げます。  
申込登録フォーム：[https://ws.spider8.jp/inquiry/inquiry.php?as=inquiry\\_input&type=7](https://ws.spider8.jp/inquiry/inquiry.php?as=inquiry_input&type=7)  
※ 多数のご応募が予想されるため、ご希望の方はお早めにお申込みください。  
お申込は先着順で受付させていただきます、定員50名になり次第、締め切らせていただきます。

＜この件に関するお問い合わせ先は下記までお願いいたします＞  
株式会社 PTP 営業グループ 担当：鈴木  
電話：03-5465-1662 FAX：03-5465-1628